



働きながら出産・育児を支援するために、認定こども園を開設。 職員のライフステージに配慮した異動希望調査を行う。

社会福祉法人 敬老園

- ◆高齢者介護福祉
- ◆従業員数1,147名【女性732名・男性415名】
- ◆上田市常磐城

は職員の家族旅行にも適応されるため、家族への慰労にも活用されている。平成17年に開始したこの制度は平成28年までに約1597名が取得した。

受賞とその後の展開

平成28年度に上田男女共同参画推進事業者表彰を受賞した。受賞の主な理由は、リフレッシュ休暇制度と認定こども園の開設である。その他には職員のメンタルケアにも力を入れ、離職防止やハラスメントの防止に努めていることが主な理由であった。

受賞後、敬老園はアルバイトや登録職員を除いた職員1019名を対象に職員意識調査を実施した。この結果は、育児や介護を担う職員の現状や支援体制の確

認、パートから正規職員になるための条件や職場環境、定年延長などの働き方改革に繋がっている。この意識調査により、離職防止や退職者の再就職、連続有給取得の推進といった成果ができてきている。だがその反面、育児休業復帰後の育児短時間制度を活用するパート職員が多く、夜勤シフトに入れる職員が限定されてしまう問題がある。これからも職員の働き方に着目し



▲女性が働く職場であるとともに、管理職の女性比率も高い。部長職の女性比率は40%である。

定こども園の開設である。その他には職員のメンタルケアにも力を入れ、離職防止やハラスメントの防止に努めていることが主な理由であった。

受賞後、敬老園はアルバイトや登録職員を除いた職員1019名を対象に職員意識調査を実施した。この結果は、育児や介護を担う職員の現状や支援体制の確

改善をすすめていくという。女性が働きやすい環境を整備しながら地域に貢献する企業だった。

片桐 万治子さん

社会福祉法人 敬老園
本部人事・教育研修部 部長 参与

女性が働く職場で、管理職における女性の比率も高い。女性が働きやすい環境づくりの取り組みが地域のモデルになっていくことを期待している。



仕事と子育てが両立できるよう、保育園を開始

社会福祉法人敬老園は、昭和48年に設立され今年で45周年を迎えた。病院からの退院後、自宅に戻れない高齢者を対象とする施設として設立されたが、現在では地域を支えることを使命として、乳幼児から老年期の生活段階を7つのライフステージに分類し、それぞれのステージに適した事業を展開している。そのため、地域社会における幅広い貢献に繋がっている。

これまで運営してきた中で、結婚・出産・育児又は介護によって退職する女性職員が多かった。そこで「仕事と子育て」の両立支援の一環として、平成20年に認定こども園キッズ・うえだ

みなみ敬老園を開設し、敬老園で働く人々の子どもを保育を開始した。これは、敬老園で働く職員はもちろんのこと、一般市民も利用できる施設であり、地域で働く女性の手助けにもなっている。

ワーク・ライフ・バランスを推進する、独自のリフレッシュ制度

また、敬老園では働く人が疲れ果ててしまわないように、ワーク・ライフ・バランスの向上にとめている。たとえば、法人独自のリフレッシュ休暇制度を設け、勤続年数に応じた旅行クーポン代を支給している。この制度の目的は職員の心身のリフレッシュを行い、職員自身の活性化を図っている。またこの制度